

肥後銀行のSDGs・環境の取り組み

～持続可能な地域社会の実現を目指して～



肥後銀行地域振興部
部長 大野 隆

肥後銀行

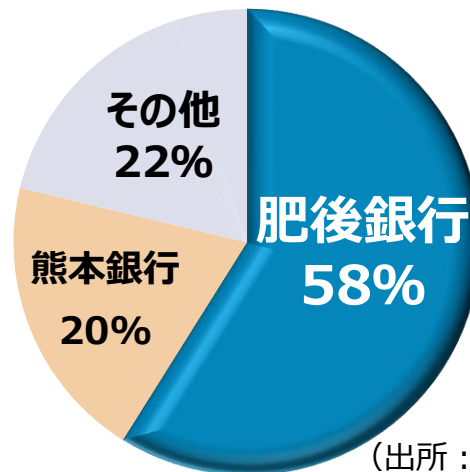


九州フィナンシャルグループ

創 立	大正14年7月25日 (2025年に100周年を迎えます)
資 本 金	181億円
預 金	5兆4,935億円
貸 出 金	4兆6,041億円
拠 点 数	125 (本支店118、出張所5、海外駐在員事務所2)
従業員数	2,180人
自己資本比率	10.45% (国内基準)

(2024年3月末現在)

【熊本県】2023年度メインバンク割合

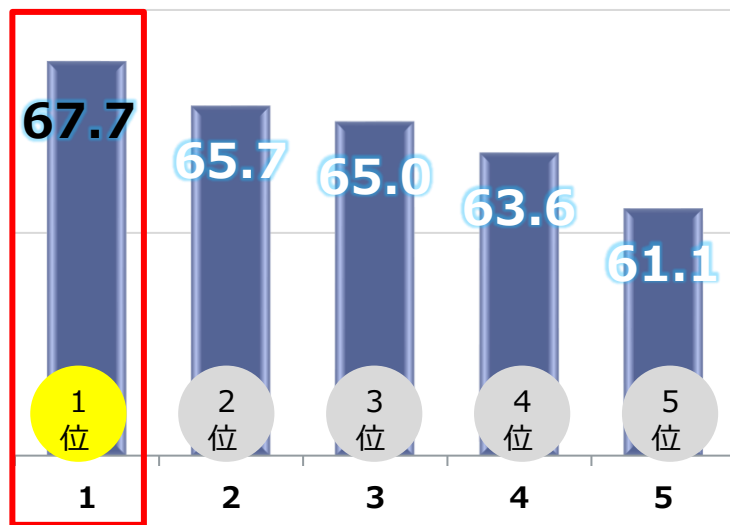


(出所：帝国データバンク資料)



(本店)

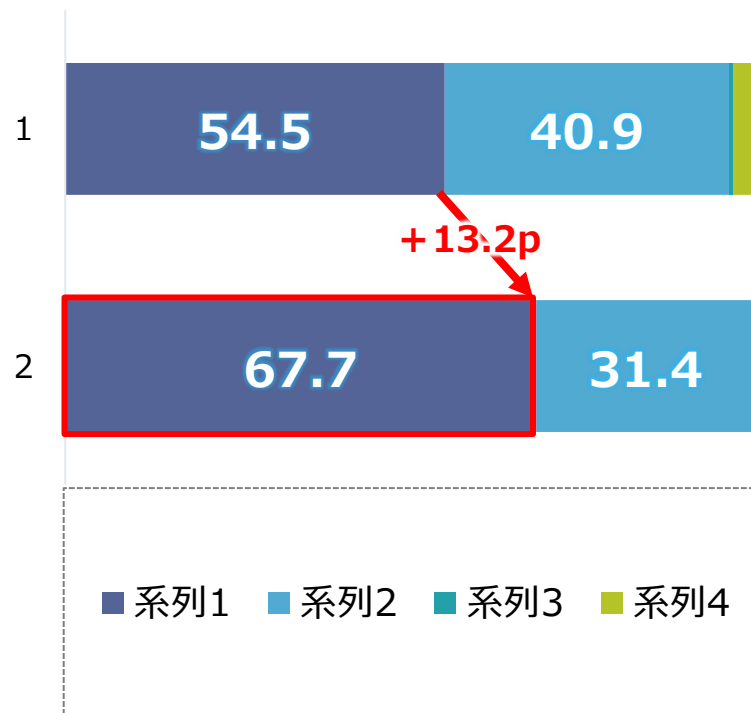
「SDGsに積極的な企業の割合」全国ランキング（2024年）



(帝国データバンク「SDGsに関する企業の意識調査」)

熊本県 2年連続 全国1位
(2021年 1位、2022年 3位、2023年 1位)

【SDGsへの積極性（全国平均との比較）】



熊本の全国的な認知度は高まっており、
今後も取り組みが加速する事が予想される。

1. SDGs・環境の取り組み

2. 今後の展望

【九州FG】グループのSDGs推進体制について

2018年に専門組織を設置。持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化。

SDGs/
ESG



2018年10月専門部署設置



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ

サステナビリティ統括室



HigoBank

肥後銀行

サステナビリティ推進室



Kagoshima Bank

鹿児島銀行

サステナビリティ推進室

15名態勢

グループの目指す姿



好循環サイクルを実現



地域・お客様・グループの持続可能性向上

システム名

Zero-Carbon-System
(通称：炭削くん)



開発目的

CO₂排出量の把握、見える可を実現するシステムをお客様にご活用頂くことでお客様、そして地域全体のカーボンニュートラル実現を目指すため

特徴

- ・マルチデバイス対応（PC、スマートフォン等）
- ・他のシステムと比較して低価格で利用可能
- ・自社及びサプライチェーン全体の排出量算定可能

**現在3,000社前後
の企業が利用中**

主な機能

- 電気、エネルギー等の各種使用量（請求書等）データをシステムに入力
- ① 企業活動全体のCO₂排出量算定（Scope1,2,3）および可視化
 - ② 排出量削減目標の設定及び進捗管理
 - ③ 算定結果のレポート出力

**独自開発システムで
は地方銀行初！**

肥後銀行の生物多様性保全の取り組み

世界

2022年
賛同

Task Force for Nature-Related Financial Disclosure
(自然関連財務情報開示タスクフォース)



⇒2024年1月 九州FGにてアーリーアダプト

国内

J B I B
(民間団体)



2022.4加入

30by30
アライアンス
(環境省)



2023.5加入

民間主導での生物多様性保全の貢献を目指すイニシアティブ。三井住友海上が代表理事を務める。

30by30目標達成に向け、保護地域の拡充とともに、保全されてきたエリアをOECDとして認定する取り組みを進めるため、環境省が中心となって発足

熊本

2006年～



阿蘇（県東部）：
大観の森での植樹・棚田での稲作

2021年～



人吉球磨（県南部）：
緑の流域治水プロジェクト

2024年～



芦北町（県南部）：
アマモ場再生・ブルーカーボン創出

累計23,000人以上の行員がボランティア参加



阿蘇「大観の森」での植樹

水源涵養林の育成のため、累積59ヘクタール、14万本以上の植樹を実施。(2006年～)



「大観の森」での植樹



6.1



13.3



15.1.2



「阿蘇水掛の棚田」での稲作

耕作放棄地を利用し棚田を再生し、農業による水田湛水事業を行っています。(2011年～)



「水掛の棚田」

1. SDGs・環境の取り組み

2. 今後の展望

「成り行きの未来」ではなく「意志のある未来」



その地域にどんな地方銀行があるかによって、その地方の未来は変わる！

【事例1】生物多様性保全×流域治水の取り組み

- 令和2年豪雨からの創造的復興を目指し、当行は「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」産学官金連携による**地域共創プロジェクトに幹事機関として参画**
- プロジェクトの一環として、**地元団体等と連携し湿地保全活動を展開**

(人吉) あさぎり町 丸池・寺池・久鹿湧水



丸池



寺池



久鹿湧水

今後の活動：入口（浸透地区）と出口（湧水地区）をつなぐ雨庭設置による湧水量調査と湧水量の改善

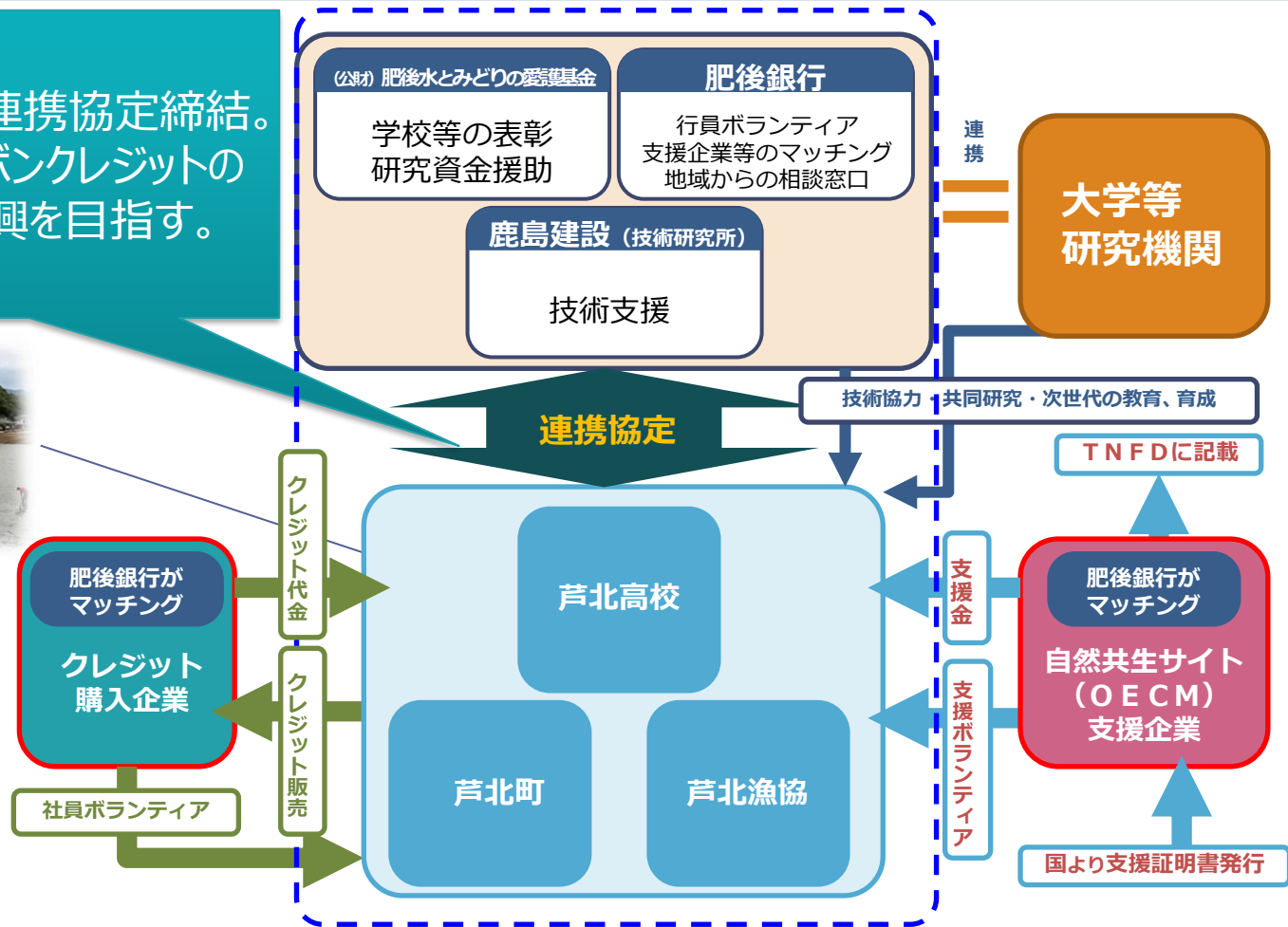
**今後さらに地域・企業を巻込んだ生物多様性保全活動を展開する
(OECM登録も目指す)**

【事例2】生物多様性保全×ブルーカーボンの取り組み

2024年11月、連携協定締結。
今後ブルーカーボンのクレジットの
創出、地域振興を目指す。



芦北高校林業
科によるアマモ
場再生作業の
様子



SDGs
教育施設

くまもとSDGsミライパーク
by HigoBank



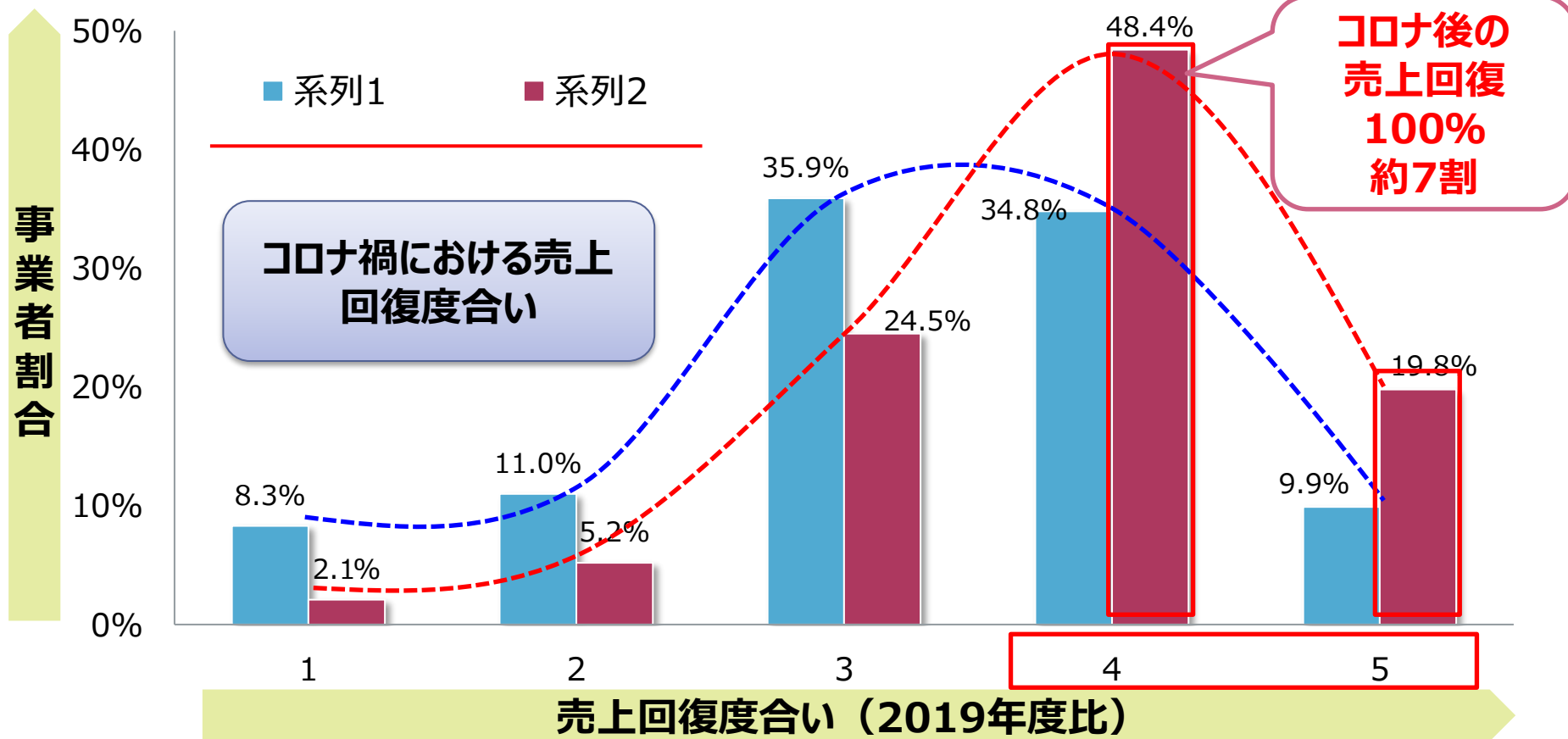
「©2010 熊本県くまモン」

阿蘇くまもと空港
ビジターセンター内に開業

2024年10月26日プレオープン
2025年4月7日グランドオープン



SDGsに取り組む企業は非常時の業績回復も早い！



キーマッセージ

- SDGsは「地域を持続可能にするための道しるべ」
- 「地域連携」することで大きな成果を生む
「競争」ではなく「共創」が重要
- 企業も金融機関などすべてのステークホルダーが
「SDGs・環境に関心を持ち、できることから取り組む」

ご清聴ありがとうございました

うるおいある未来のために。

